

地域の身近な図書館

「学校開放図書館」



▲本郷小学校の2階にある開放図書館「いちい文庫」の様子

白石区には、在校生ばかりではなく、地域の人も利用できる「学校開放図書館」が六校にあります。今月号では、本郷小学校の開放図書館を中心に、活動の様子とそれを運営しているボランティアの皆さんを紹介いたします。

五

十九分。これは、昨年の読書世論調査による、国民

が一日に書籍・雑誌を読む時間です。この数字は前年より八分増加し、「書籍を読む」と答えた人の割合（読書率）も調査開始以降最高の59%に上ったとのこと。このように、近年読書に対する関心が高まっているようですが、皆さんは「本」とどうお付き合いをしていますか。

市

では、地域の皆さんの読書の場を広げることなどを目的に、昭和五十三年から学校図書館地域開放事業を行っています。学校・PTA（家庭）・地域の三者が連携し、ボランティアによって運営しており、この方式は他都市では見られないものです。

現在、白石区内の開放図書館は六校にあります。その中で昨年度最も利用者の多かった本郷小学校



▲開放図書館の書棚には、児童書のほか一般の利用者向けに、小説や実用書などいろいろなジャンルの一般書も豊富に並んでいます



▲開放図書館は一般の方も利用することができます。本郷小学校の開放図書館では、一般の利用者は最大3冊まで2週間借りることができます

※読書世論調査～毎日新聞社が昭和22年から毎年実施している全国調査